

牧場

正五位下守右中弁藤原朝臣永保

從五位下行左大史大春日朝臣良辰

〔拾芥抄中末本朝國郡〕牧名

柏前 眞衣野 穂坂已上 石川 田比 立野 小野 秩父已上 山鹿 鹽原 岡屋 平井手

笠原 高位タカキ 宮處 垣原 大野 大屋 猪鹿 萩倉 新沼 長倉 鹽野 望月モチツキ已上 利

處 有馬 沼尾 群志 久野 市代 大監 鹽山 新屋已上 野

〔八雲御抄五名所〕牧

みつのみまき 山後拾、相模 まこも きりはらの播 もちづきの同 をふちの陸 ころこ

まの甲 たちの、同 おの、同 ほさかの同 とりかひ山 おがさはらの甲 いるまの

みまき 播 是累代牧也

〔藻鹽草三地儀〕牧

をの、みまき びたち、露草のうつければ、おふちのみ牧 奥州、おふちのこまなつくもかには、いるま

のみ牧也、八雲御説の牧 ころこまの牧 八雲ほさかの牧 八雲おくの牧 もちづきの牧 八雲御説の、八

づのみ牧 山城、五月、あらの、牧 奥州、こまなつ、のみ牧 たちの、牧 きりはらの牧 雲御説の、八

牧 鳥養御牧 ずへてとるかひにてもくらしつるかな、へみのみ牧 小がさ原みづのみ

牧 十體中に、古歌のまきもある、むまもとれ、國也、みづの、みまきは、山、昭、云、これたり也、

ひの國のまきよみつ、くべからず、云、へみのみまきは、水のみまきと侍り、へみは、か

みまきとよめり、付、此、ひかる、事、か、又、奥、義、抄、にも、此、定、に、ひ、げ、り、も、春、雨、の、歌、も、つ、て、い、が、こ、ん、也、と、云、々、

〔類聚名物考 地理二十一〕みづのみまき 美豆御牧 山城國

美豆は山城國乙訓郡なるよし勝地一覽に見ゆ、然るに美豆御牧等を淀野によみ合せたり、その淀は東久世郡なるよしなれば、此所いぶかし、尋て知るべし、